

IR

Investor Relations

2012

News

第48期 事業のご報告

平成23年4月1日～平成24年3月31日

Contents

- トップメッセージ
- 特集
- 財務ハイライト
- セグメント別事業概況
- トピックス
- 会社概要

D Earth Screw

ディー・アーススクリュー®



トップメッセージ

“人のお役に立つために・・・”を根本に、
チャレンジ 35 の実現に邁進します！

当期(平成24年3月期)の
概要についてお聞かせください。

Q1

A1 当社グループの当期実績は、売上高が138億51百万円(前期比1.7%増)、経常利益は5億83百万円(同31.4%増)と増収増益になりました。

当社におきましても、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響が色濃く反映された期となりました。サプライチェーンの寸断や原発事故に起因した電力供給の制約などにより、国内の産業活動が減速したことを受けて、とくに西日本地域では耐震工事の発注が停滞するなど、受注活動に大きな影響を与えました。しかしながら、震災後の復旧・復興に伴う修復工事の増加により、主力製品である金属拡張アンカーが好調に推移したことから、売上高は小幅ながら増加しました。また収益面では、グループ各社が一体となって製造コスト低減への取組みを推進したことで利益率が改善し、売上高の増加率に比して大幅な利益を確保するに至りました。

なお、大震災の影響で、仙台支店や流山事業所の一部が損壊しましたが、全社員が一丸となってその対応に当たった結果、建屋の復旧面およびお客様への供給面において最小限の被害に留めることができたことに安堵しております。

タイ工場について
洪水の影響はいかがでしたか？

Q2

A2 グループ子会社のサンコーファステム・タイランド(タイ工場)では、昨秋の洪水時に約1ヵ月間、生産活動の停

代表取締役社長

洞下 英人

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社 是

創り、活かし、満たす
— 人のお役に立つために、
創造提案型企業をめざす —

社 訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに
貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。
こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを
目指しております。

「社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業プログラム
『倫理17000』の第1号に認定



止を余儀なくされました。しかし、洪水初期に、同社の在庫品を速やかに日本へ出荷したことで、日本国内の製品供給に支障をきたすことなく対処できました。また、工場敷地内が一時冠水したものの、工場建屋内に水が入らないよう事前に防壁をつくったり、社員が寝泊りをして昼夜にわたり浸水状況を監視したりする等の対応が奏功して、製造機械など生産活動に影響をきたすような固定資産の損失を防ぐことができました。

今回は、社員の奮闘により、直接的な被害を回避できましたが、大震災等を含めて有事を念頭に置いた、当社グループのBCP（企業の事業継続計画）についての対応強化をしていく所存です。

中期経営計画の進捗も含め、次期（平成25年3月期）の施策について教えてください。

A3 中期（5ヵ年）経営計画を策定してから、次期（平成25年3月期）は3年目にあたります。現在、中計の達成スローガンである「チャレンジ35」の実現に向けて着実にステップを踏んでいるところです。なお次期計画については、当期の実績に鑑みて、売上高を一部修正しましたが、次期利益および4～5年目については当初の計画を堅持してまいります。

投資活動については、日本国内では、当期に引き続き太陽光発電などの環境分野と耐震補強分野の伸張が予想されることから、これにかかる製品・工法の拡販に向けて経営資源を投入して積極的に推進してまいります。また、前期の法改正により駆け込み需要が発生したセンサー事業は、当期その反動減の影響を受けましたので、次期は売上回復を目指してまいります。一方、海外では、平成24年3月にタイ工場を増設（第4工場竣工）したことにより生産能力が向上しましたので、平成23年10月にベトナムに開業したサンコーファステムベトナムでの売上拡大を含めて、東南アジア圏での販売推進を本格化させてまいりたいと考えております。

また当期は、新しい基幹システムをサンコーテクノ本体に導入しました。次期は、ITを活用した業務の改善を推進し、業務のさらなる効率化を目指してまいります。さらには人材

改革においても、各種制度面の改定と併せて、個々が成長できる環境を整備してまいります。

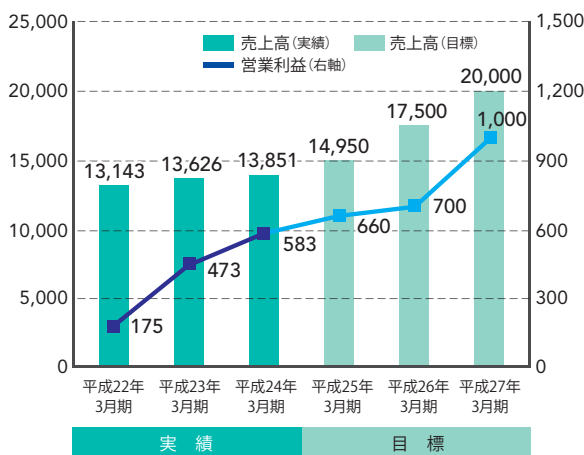
最後に、株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

A4 東日本大震災で被災された方の一助となるよう、日本赤十字社を通じて売上の一部を義捐金として寄付いたしました。次期も継続する構えです。当社グループは、事業の拡大と共に社会への貢献を積極的に行い、“人のお役に立てる”企業であり続ける姿勢を、全社員が共有し実践してまいります。創業メンバーの一人であり、長らく当社グループのCEOに就いていた、洞下実・前会長が平成24年1月24日に他界しましたが、故・洞下実が常々申していた“人のお役に立つために…”の精神をしっかりと引き継ぎ、経営に当たってまいります。

まずは、中期経営計画（チャレンジ35）の達成に向けて、次期も全力で取り組んでまいりますので、株主・投資家の皆様におかれましては、長期的な視野において、当社グループの成長を見守ってくださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

●中期経営計画の進捗と計画

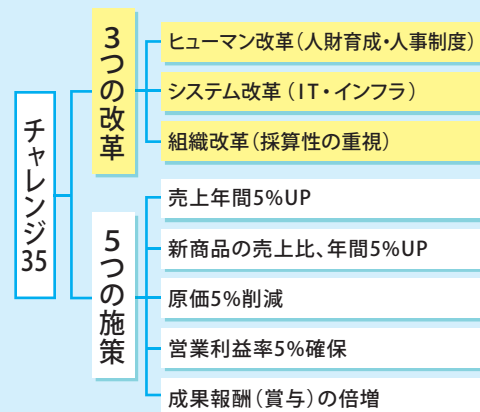
（単位：百万円）



中期経営ビジョン・戦略 PLAN2014

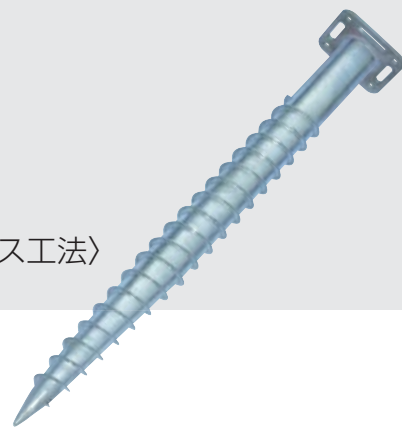


経営スローガン・チャレンジ35



特集

地盤設置型ソーラーシステムの新たな基礎工法 ディー・アーススクリュー®〈ダイレクトアース工法〉



太陽光市場について

7月1日から「再生可能エネルギーの買取に関する特別措置法案（再生エネルギー特措法）」が施行されます。経済産業省の「調達価格等算定委員会」は、2012年度の住宅用太陽光発電による余剰電力の買取価格を1キロワット時あたり42円、買取期間10年、また太陽光発電所など10kW以上の非住宅用太陽光発電は1キロワット時あたり42円で買取期間は20年とする方針を示しており、これに伴い、太陽光発電への需要がさらに高まっています。

ダイレクトアース工法について

「ダイレクトアース工法」は、「ディー・アーススクリュー」を使った、太陽光パネルを地盤に直接設置する新たな基礎工法です。

「ディー・アーススクリュー」はスクリュー形状で地盤に直接打込み、簡単に施工することができます。従来のコンクリート基礎と比べ、工期・工程を大幅に短縮できるのが特長で、さらに打込み後すぐに架台の設置にとりかかれます。施工だけではなく撤去も容易で原状回復が可能となります。

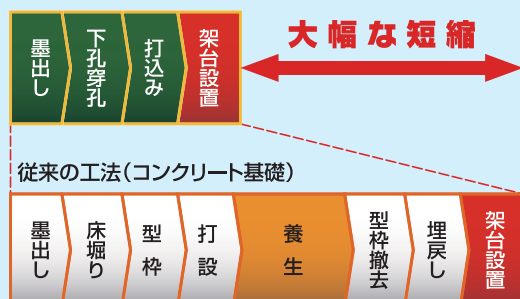
また、耐食性、剛性、強度に優れるほか掘削、残土処理、コンクリート養生、型枠の廃材処理が不要で環境負荷の低減を図ることができます。



スピード

地盤に直接打ち込む簡単施工で、工期を大幅に短縮

ダイレクトアース工法



重機施工
大量施工には専用重機での対応も可能

ディー・アーススクリューの打込みが完了すると、すぐに架台の設置に取りかかれます。打込みは傾斜地や狭所など、どこでも施工が可能で、大量施工には専用重機での対応も可能です。従来のコンクリート基礎に比べ短期間で施工が完了します。





エコロジー

撤去・原状回復が可能で、
環境負荷の低減につながる

従来の基礎工事と違い直接地盤に固定できるスクリー形状なので、施工だけでなく、撤去も簡単で、容易に原状回復が可能です。コンクリート打設と比べて、型枠や残土などの廃材の発生も少なくてすみます。



原状回復（イメージ）

安全・安心・信頼

設置場所の調査や性能確認など、
きめ細かくバックアップ

目安数量

設置環境や条件に応じた最適なディー・アーススクリーを選択。事前情報をもとに、設置数量を試算します。

性能確認

独自開発の強度確認試験器を使うことで、設置場所での性能確認も可能です。

N 値（地盤強度）確認

設置現場の地盤確認としてスウェーデン式サウンディング試験を採用しています。



測定部



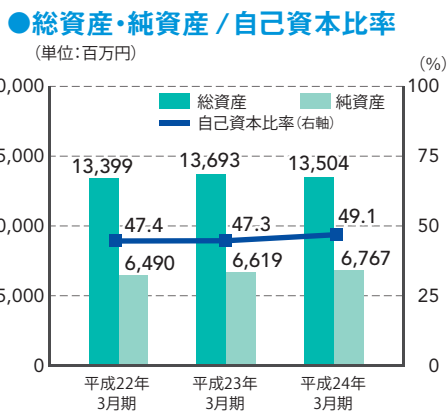
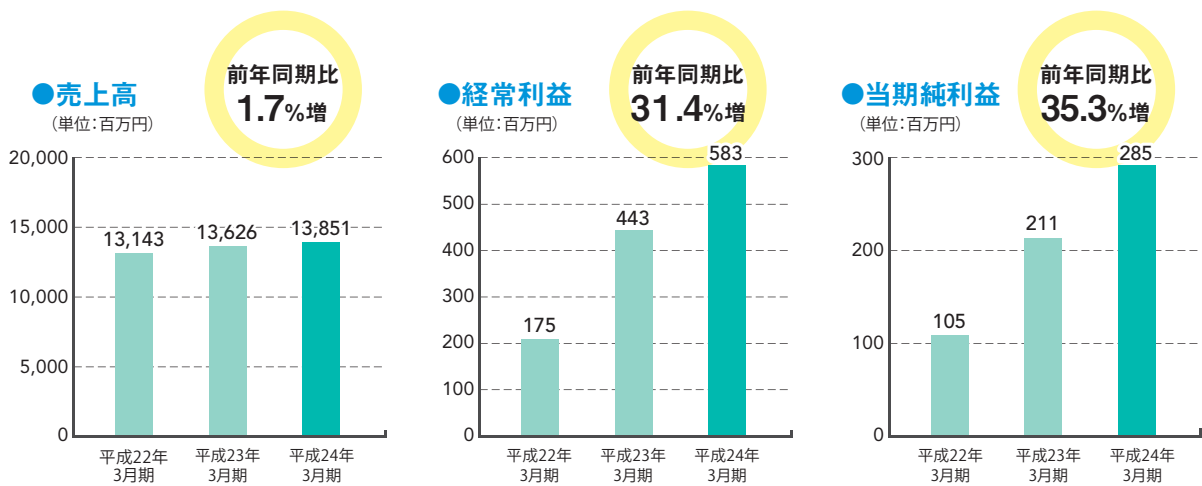
確認試験風景

N値測定

財務ハイライト

当社グループは、中期経営ビジョンのもと、安全・安心・環境をキーワードに、「建設分野でのファスニング」を越えて事業領域の拡大に努めました。当連結会計年度における売上高は 13,851 百万円（前連結会計年度比 1.7%増）となりました。利益面では、売上の増加に加え継続して行っているコスト削減も奏功したことで、経常利益は 583 百万円（同 31.4%増）、当期純利益は 285 百万円（同 35.3%増）となり、増収増益を確保しました。

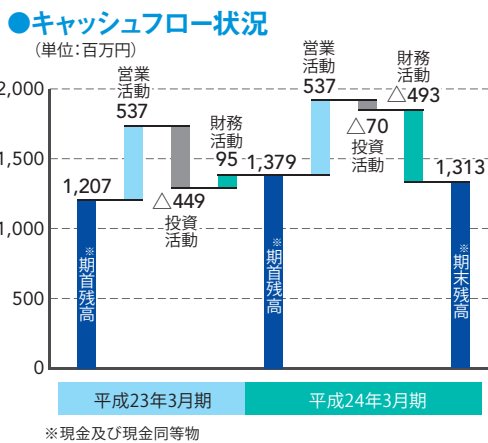
※平成23年3月期の連結財務諸表につきましては、会計方針の変更等により一部を修正しています。



●通期業績(要約)

(当期:平成23年4月1日～平成24年3月31日 前期:平成22年4月1日～平成23年3月31日)

科 目	当期	前期	増 減
売 上 高	13,851	13,626	1.7%
営 業 利 益	583	473	23.2%
経 常 利 益	583	443	31.4%
当期純利益	285	211	35.3%



●貸借対照表(要約)

(当連結会計年度:平成24年3月31日 前連結会計年度:平成23年3月31日)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	増 減
流 動 資 産	7,387	7,350	0.5%
固 定 資 産	6,117	6,343	△3.6%
資 産 合 計	13,504	13,693	△1.4%

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	増 減
流 動 負 債	5,445	5,718	△4.8%
固 定 負 債	1,291	1,355	△4.7%
純 資 産	6,767	6,619	2.2%
負債・純資産合計	13,504	13,693	△1.4%

セグメント別事業概況

ファスニング事業

あと施工アンカー、建設資材の留め具であるファスナー等の締結資材やドリルビット、電動油圧工具等を製造・販売しています。震災後の復旧・復興に向けた小規模な物件が多く発生し、主力製品である金属拡張アンカーが好調に推移しました。



リニューアル事業

あと施工アンカーをはじめとする締結技術を応用し、各種構造物を守る工法を開発、耐震補強等に活用しています。FRPシート関連製品や外壁補修関連製品が好調でしたが、西日本地域を中心に新規工事物件の受注が低調でした。



センサー事業

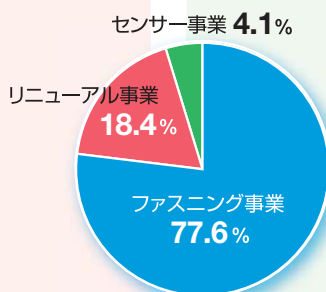
車両の表示板用や工事・事故の表示板用、観測機向け等の電子プリント基板や各種測定器の生産・販売を行っています。アルコール測定器が駆け込み需要の反動減となり、医療機器向け等の電子基板関連製品が低調に推移しました。



●セグメント別売上高構成

(平成24年3月期)

※セグメント間取引を含んでいるため、合計額は連結売上高と一致していません。



●売上高
10,817 百万円
●セグメント利益
583 百万円

●売上高
2,559 百万円
●セグメント損失
△0 百万円

●売上高
568 百万円
●セグメント損失
△22 百万円

トピックス



サンコーファステムタイ第4工場完成

関連子会社であるサンコーファステム・タイランドの第4工場が2012年3月に竣工しました。老朽化した設備の更新(製造パリエーションの拡大)と効率化を追求した製造設備、また、外注工程の内製化を目的とした製造設備を導入しました。



第3回太陽光発電システム施工展

(2012年2月29日～3月2日/東京ビッグサイト) 当社は「新基礎アンカーシステム」を出展。今回は架台メーカーの相互金属(株)様と共同出展しました。7月より始まる「再生可能エネルギー」全量買取制度の効果もあり、多くの方に足を運んでいただくことができました。

免責事項

本資料の将来に係わる記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

会社概要

(平成24年3月31日現在)

商 号	サンコーテクノ株式会社
設 立	1964年5月15日
資 本	768百万円
社 員	305名(連結554名)
所 在 地	千葉県流山市東初石六丁目183番1 TEL 04-7178-5535 FAX 04-7178-5557
取 引 銀 行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 京葉銀行
事 業 内 容	建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、 複合材、防水材、各種測定器の企画開発・ 製造・販売・施工及び輸出入

役員

代表取締役社長	洞 下 英 人
取締役副社長	佐 藤 静 男
常 務 取 締 役	洞 下 正 人
常 務 取 締 役	八 谷 剛
取 締 役	上 石 茂 行
取 締 役	佐 藤 靖
監 査 役	甲 斐 常 敏
監 査 役	鈴 木 英 雄
監 査 役	塙 善 光

関連会社

連結子会社

SANKO FASTEM (THAILAND) LTD.
三幸商事顧問股份有限公司
株式会社IKK
アイエスエム・インタナショナル株式会社
株式会社スイコー
SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD.

持分法適用関連会社 株式会社サンオー

持分法非適用関連会社 株式会社イーオプティマイズ

株式の状況

(平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数	3,500,000株
発行済株式の総数	2,186,352株
株主数	800名

大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 英人	285	13.07
東京中小企業投資育成株式会社	180	8.23
濱中ナット販売株式会社	172	7.88
有限会社サンワールド	168	7.68
サンコーテクノ社員持株会	129	5.94
武藤 昭二	93	4.27
新井 栄	65	2.99
洞下 照夫	53	2.45
株式会社みずほ銀行	44	2.03
佐久間 菊子	41	1.91

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

2. 当社は自己株式(151千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	
特別口座の	みずほ信託銀行株式会社
口座管理機関	
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.sanko-techno.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事 由によって電子公告をする事ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

お問い合わせ先

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の 証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取方法の変更等)		みずほインベスターズ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については 右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お 問い合わせ先・各種手続 きお取扱店をご利用くだ さい。	特別講座では、単元未満株式の買 取以外の株式売買はできません。証 券会社等に口座を開設し、株式の振 替手続を行っていただく必要があり ます。

Web Information

当社のホームページでは株主・投資家の皆さまに対して、企業
情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示をしており
ます。当社をより理解していただくためにも、ぜひアクセスを
お願いいたします。



<http://www.sanko-techno.co.jp/>

サンコーテクノ株式会社

〒270-0114 千葉県流山市東初石六丁目183番1



この冊子は環境保全のため、
植物インキとFSC®認証紙を
使用しています。